

Gifu Keizai University **GKU** **N** **W!**

岐阜経済大学マガジン

vol. 97

2019.March



② 「岐経大」から「協立大」へ

- ⑥ 教育最前線
- ⑨ キャンパス彩々
- ⑩ 輝け!アスリートたち
- ⑫ キャリア支援課だより
- ⑬ Close-up OB
- ⑭ NEWS
- ⑮ 研究室だより
- ⑯ お知らせ



「岐経大」から

「協立大」へ



52年の歴史継承と進化に向けて

平成31(2019)年3月19日、岐阜経済大学としては結びとなる49回目の卒業式を迎えます。本学は昭和42(1967)年4月、岐阜県初の私立大学として、また初の社会科学系大学として、地域に有為の人材を養成することを目的に、地元自治体、経済界、教育界の強い要望のもと、公設民営大学として開学しました。以来52年間に、2万5千人を超える有為の人材を輩出してきました。



最初に建設されたC号館(1967年2月)

開学時と今日、半世紀の間に大学を取り巻く社会環境は大きく変化しました。18歳人口は242万人から118万人へ減少する一方、大学進学率は12.9%から53.3%へ、岐阜県内の大学は3大学から11大学へ増加し、かつ同系学部の競合関係も顕著です。また、2018年の出生数は、過去最少の92万人という現実も直視しなければなりません。

今日、情報通信技術、AI(人工知能)等の発達は、産業と社会生活に劇的な変化を創出する可能性に満ちています。これら科学技術の発達により、現在の職業の半数が代替されるといふ報告がありますが、AIが及ばない仕事、新たに創出される仕事もあるに違いありません。学校教育において、賛否はありますが小学校から英語、プログラミング教育が行われ、高等教育機関では新たに専門職大学が発足します。民間の人材育成投資に限界があるなか、地域社会の未来を担う人材養成に向けて、大学教育への期待は高まる一方です。

いよいよ4月から、岐阜経済大学は岐阜協立大学に名称が変わります。命名には、経済経営に特化した大学から看護学部を加えた文理総合大学となること、名実ともに地域の知の拠点となる決意を示しております。

組織は生き物でもあります。岐阜経済大学の当初の理念「自主と自由」「全人教育」「地域との共生」は、大学創立50周年を期に、「知を創り、地に資する」「社会的使命」、「地域に有為の人材を養成する」



現在の校舎

(教育目的)と再定義しました。この理念精神は、組織のDNAとして岐阜協立大学に継承進化を続けます。おりしも、改元と同期して始まる新たな大学づくりに、大学人一同、全力で取り組む所存でありますので、皆様の一層のご理解とご支援を宜しくお願いいたします。

学校法人大垣総合学園
副理事長 浅野 照章
(第2期卒業生)

ありがとう、岐阜経済大学



校友会会長
安田 良邦

私は、岐阜経済大学2部で学びました。働きながらの勉学は大変でしたが、素晴らしい先生方の指導や、同じ境遇の仲間達と励まし助け合いながら、卒業することができました。

今思い返すと、苦しさよりも楽しく通ったことを思い出します。また、その後の社会人としての人間形成の大きな礎であったと確信しています。

卒業後は、校友会役員として校友会各県支部の設立や、母校の後援事業等に携わっており、OBや後輩達の活躍がマスコミ報道されると、とても嬉しく身近に感じます。

4月から慣れ親しんだ「岐阜経済大学」から「岐阜協立大学」に改称されます。大垣市を中心とした西濃地域唯一の4年制大学として、政・財界の大きな期待を担い、公設民営化という形で誕生してから50余年が経過しました。しかし、少子化が進むなか、今まさに大学も転換期に突入しました。校友会としても今後の大学の将来像として、校友会創立40周年時に「母校興隆に関する提言書」～私立大学の公立化による持続的なまちづくりへの提言～として市立化を進言しています。必ずや実現することを心から期待しています。

「この大学が好きだから!」ズーッと応援します。

岐阜経済大学から岐阜協立大学へ



親和会長
石野 成明

岐阜経済大学の父母会である「親和会」に携わるようになってから、約4年の歳月が過ぎました。昨年度、岐阜経済大学は創立50周年を迎え、50周年事業として新食堂「Cafe Rest50」、第2体育館「フェニックスアリーナ50」、新2号館であるシンボル棟が建設されました。また、大垣女子短期大学との法人合併が行われ、「学校法人大垣総合学園」として新たなスタートを切りました。

これまで、半世紀において「地域に有為の人材を養成する」という教育目標をかかげ、多くの学生を社会へ送り込む使命を果たしてこられました。

そして、来年度は「岐阜協立大学」へと大学名が変わり、看護学部が新たに設けられます。岐阜協立大学は「教育研究の力」「人間力」「地域の力」の3つの力により、未来を拓く大学として生まれ変わります。

今後、大学は出生率の低下と大学進学率の頭打ちによって、2018年を境に大学入学年齢の18歳人口が減少していく「2018年問題」に真正面から向き合い、選ばれる大学へと変化し続けることが求められます。今後も看護や教育などの実学系の学部学科を設けるなど地域や産業界が求める人材を養成し、特色や個性のある大学を目指した改革を推し進められることを期待しています。

「岐阜経済大学」の50年の歴史と、この変革の時に立ち会えたことに感謝。そして、「岐阜協立大学」の今後のご発展を衷心より祈念いたします。

感謝の言葉



学生会議長
澁谷 晃大

経営学部スポーツ経営学科 4年
滋賀県 近江高校出身

私が岐阜経済大学の学生として過ごし始めた春から、もう4年が経とうとしています。ここまで歩みを進めて来ることができたのは私に関わってくださった多くの方々のおかげであり、感謝の気持ちでいっぱいです。

特に2年生から所属し始めた学生会での活動では、先輩、後輩、同学年の学生、先生方、大学職員の方々、地域の方々など、大変多くの人に協力していただきました。学生会の活動の中で、岐阜経済大学はたくさんの人から愛されているのだと感じました。そんな岐阜経済大学の歴史が、ここで一区切りされるということに対して、少し残念な気持ちはあります。しかし、来年度からは新たに「岐阜協立大学」へと校名を変更し、新たな歴史を歩んでいくこととなります。校名は変わってしまいますが、いままで岐阜経済大学に関わってくださった方々が作り上げてきた歴史、伝統がなくなるわけではありません。私は卒業してしましますが、学生会の頼もしい後輩が学生の中心となって、いままでの伝統を受け継ぎ、また新しい歴史を作っていくと思っています。

この大学で過ごした4年間は、私の人生の中でとても貴重な時間となりました。そんな大学生活で関わってくださった方々、そして大学には感謝でいっぱいです。ありがとう、岐阜経済大学。

新学長が語る、岐阜協立大学の展望



1 岐阜経済大学から岐阜協立大学へと変わる、学長就任についての想いを聞かせてください。

本学は、今年、2019年4月に大学名を変更します。開学50周年の年であった2017年に大垣女子短期大学と法人統合を行い、女子短期大学に設置していた看護学部を大学に移設、4年制に発展させることが大学名称変更の直接の契機になりました。私がここにお世話になったときは単科大学でしたから、本学そのものや大学を取り巻く環境は以前より複雑になっています。大学の外をみても、従前からの少子化がより一層進む中、教育のありかたもアクティブラーニングを基礎概念としつつ、能動的に何かを身に付けるものへと改革が求められています。ですから、総じて、大学全体が変革期にあるとも言えます。他方、大学が何のために存在するのかというところ、やはり教育と研究、そしてそれらを通じて

一般的に言えることとして、「岐阜経済大学」から「岐阜協立大学」に名称が変わること、大学に想定される学問分野は広がります。これは、発展的なことでもあるので、今後、大垣女子短期大学の皆さんと連携してチャレンジし、可能性を追求したいと考えています。

3 今後具体的に実施したい政策などはありますか。

学長に選任されるにあたり、多くの皆さんと対話を重ね、様々なご意見や想いをうかがってきました。そうした皆さんの想いをうまく形にしていけることができたかと思っています。ただ、お話しをうかがってばかりで流されやすく、いつもふらふらしては困りますから、皆様からいただいたお声をもとに、ある段階で、4年の任期の間に実現したいことを体系的にお示しできたらと考えています。

私の個人的な想いとして、学生の皆さんにとって楽しい思い出の多いキャンパスにしたいなということとあります。また、できるだけたくさんの方の在学生の皆さんとお話ししたいと思っています。

4 岐阜協立大学の在学生に望むことは？

大学とは学生だと思っています。世間一般の人からみて、岐阜協立大学のイメージ、評価は何によって決まるのでしょうか。学長になる私の評価というものも少しはあるでしょうが、学生諸君のイメージ、評

地域貢献ということとで、その本質に変化はありません。岐阜経済大学の建学の精神であった、創造発見、知才涵養、資質発揚、地域貢献といったものは、岐阜協立大学にも引き継いでいかねばならないと考えています。岐阜経済大学の設立趣意書には、「社会指導の負荷に耐えうる知才の涵養に留意し、もつて人間資質の真価を発揚せしめる」と書かれています。社会指導の負荷に耐えうるか、資質の真価を発揚するということとは、これからますます重要になっていくでしょう。変革期だからこそ、原点というか、根本的な価値観は土台において大切にしたいと考えています。

2 竹内学長の目指す「岐阜協立大学」像とは。

この大学は、大学の中では比較的小さな方かもしれませんが。しかし、それでも、多くの関係の皆様がいらつちやう、何よりも、1,000人を超える学生の皆さん、25,000人を超える卒業生の皆さんがみえます。「岐阜協立大学」と名称が変わっていくわけですが、その目指す姿というのは、学長が一人でこれを目指しますということでは決まることではないでしょう。よく、卒業生の皆さんにとっては、母校の名称が変わるといっては、大きな出来事だと思えますので、その皆さんの想いに応えることは大切です。そういう意味で、アイデンティティーというか、「いつに」というものでは、変化がない方がよいのかもしれません。教職員の諸先輩方、卒業生の方とお話しさせていただくと、「自立心」や「元気さ」といった言葉がキーワードとして出てきます。こうしたところは変わらうとは思いません。



価が絶大だと思っています。学生諸君の活躍そのものが岐阜協立大学なのです。ですから、学生諸君には、これから始まる岐阜協立大学という場で、多くのコミットメントを求めたいと思います。「コミット」という言葉は「結果にコミットする」というCMで有名になりましたが、ビジネス用語として、積極的に関わるといった意味でよく使われています。私は、高校生の頃、柴田翔さんの小説を読んでいて、「コミットメント」という言葉にこだわったことが書かれていたのが印象に残っています。やはり、結果に対して責任をもつて関わるというような意味で使われていました。私たちは一生懸命環境を整えるので、学生の皆さんには、何か結果をもたらす積極的な活動を、新しい大学でたくさんしてもらいたいと思います。

教職員OBに聞いた

岐阜経済大学の思い出



韓金江 (経営学部教授) 第29期 卒業生
講義中、ほんの少しいた寝をした私に、飯島先生は難しい質問を次々出されましたが、それに答えられた私を逆に褒めてくださいました。



佐々木喜一郎 (経営学部講師) 第31期 卒業生
旧学食ではモーニングを提供していた頃がありました。友人と学食でモーニングを食べながらレポート課題の仕上げをしました。



渡辺正典 (事務局長) 第15期 卒業生
人生の3分の2を経大で過ごしてきました。この間、多くの師、友人、学生と出会い過ごした軌跡はかけがえのない財産です。



森本堅二 (学生課主査) 第20期 卒業生
在学中の1986年頃は5～8号館や体育館の建設が立て続けに行われ、4年間、常に工事をしているような状況でした。



杉本孝行 (財務課主査) 第27期 卒業生
在学中のたくさんの出会いが今も繋がり、そして現在もその繋がりが新たな出会いを生み出してくれています。



山本悠壘 (財務課主事) 第48期 卒業生
駅伝部で過ごした4年間は色々なことを学び、経験することができました。うまくいったこと、いかなかったことすべてが良い思い出です。



加納貴子 (入試広報課専門員) 第45期 卒業生
苦しい時期もありましたが、仲間の支えがあったことで乗り越えることができました。最高の仲間と一緒に登った表彰台からの景色は、今でも私の支えです。



「財政」を通じて「地域」を学ぶ

海津市役所と共同で「自治体財政研究会」を立ち上げ、地域の抱える課題の解決に向けて研究成果を報告！

藤井えりの経済学部講師(専門:地方財政論)と有森俊文経済学部准教授(PAC支援室)の指導の下、本学の学生60人と自治体職員の方々による共同研究が行われ、2年にわたる成果を、最終報告書にまとめました。2014年度には報告書「大垣市財政の現状と今後の展望」を公表した実績もあり、今回は海津市の職員の方々に協力頂き、研究を進めてきました。

2018
3/19

海津市役所内において中間報告会を開催。市長や市役所の各担当課長をはじめ、総勢100人が参加し、大垣ケーブルテレビでも当日の様子が放映されました。



第48期 卒業生
小西丘悟さん
(現:大垣市役所勤務)

第47期 卒業生
草野俊光さん
(現:大野町役所勤務)

第48期 卒業生
田中翔也さん
(現:本巣市役所勤務)

2017
2/24

松永清彦海津市長を訪問。海津市と共同で「自治体財政研究会」を立ち上げました。



2017
6/29

第1回研究会を開催。海津市職員の方と、行財政運営や地域課題に関する研究会を重ねていきました。

第48期 卒業生
安田一成さん
(現:海津市役所勤務)

2ヶ月に1度の
定期研究会



ヒアリング調査



定期研究会での報告に向けて、週に4~5時間を費やし、財政統計や政策動向を分析しました。



鈴木亜登斗さん
(13ページ内定者報告参照)



最終報告会を開催。海津市役所からは部長12人、課長28人を含め約60人が、本学からは学生・教職員約60人がそれぞれ出席しました。学生たちが、海津市の財政構造の特徴と課題について、2年にわたる成果を報告しました。

2019
2/7

研究会の卒業生はこんな場で活躍中! (内定先含む)

大垣市役所、海津市役所、鈴鹿市役所、本巣市役所、池田町役場、大野町役場、長野県警、三重県小中学校事務、岐阜県市町村共済組合、高須輪中土地改良区、(株)大垣共立銀行、(株)福邦銀行、大垣西濃信用金庫、東濃信用金庫、(株)トーカイ、日本郵便(株)、(株)文溪堂



学びが進路選択につながりました



山田 浩大さん
(鈴鹿市役所内定・経済学部経済学科4年 三重県神戸高校出身)

リアルな地域の実情や、それに対する自治体職員の方々のシレンマに触れさせて頂いたことで、公務員を志す意識が高まりました。今後は市役所職員として、地域課題の解決に向けて挑戦し続けたいです。

岐阜経済大学として 最後の「岐経祭」開催!

11月17日(土)・18日(日)、52回目であり、岐阜経済大学としては最後の学園祭が開催されました。今年は例年より暖かく、気持ちの良い秋晴れの中、多くの来場者で賑わいました。

「ケラケラ」のアーティストライブ、バンドフェスティバル、のど自慢大会といったステージ企画や、クラブ団体・ゼミ等による模擬店、学生会によるお化け屋敷やギター部ライブ、カフェや展示等の室内企画など、盛りだくさんな2日間となりました。



キャンパス 彩々 Campus Saisai



岐経祭キャラクター
水まん君



岐経祭実行委員会 委員長
花岡 翼さん
経営学部スポーツ経営学科3年
(広島県 三次高校出身)

今年度も無事に岐経祭を開催することができました。

まずは、開催するにあたって多大なるご協力をいただいた企業の皆様、教職員の皆様、学生会をはじめとする学生の皆様、他大学の学園祭実行委員会の皆様、そしてこれまで共に頑張ってきた実行委員の皆さんに深く御礼申し上げます。

2019年4月より、本学は岐阜経済大学から岐阜協立大学へ名を変え、新たなスタートを切ります。岐阜経済大学の学園祭としては、今年度が最後になり、今までの越えるものにしたという思いから「Finally-岐阜経済大学の軌跡-」というテーマを設定しました。皆様に、「来年もまた来たい」と思ってもらえるような岐経祭にするため、「移動動物園」や「ふわふわドーム」などの新ブースを立ち上げるなど、全力で準備を進めてきました。

おかげさまで、会場には多くの皆様にご来場いただき、これまでにない新たな岐経祭を成功させた達成感は今でも忘れられません。来年度の第1回岐阜協立大学・大学祭もぜひご期待ください。

第46回学内ゼミナール大会開催

12月12日(水)、第46回目となる学内ゼミナール大会が開催されました。ゼミナール大会とは、演習(ゼミナール)ごとに研究テーマを設定し、協力して調査研究を行い、まとめた成果を発表する大会です。今年度は47チームが参加し、財政・IoT・CG・AI・オリンピッククス・スポーツなどの社会情勢を取り入れた内容から、市制100周年を迎えた大垣市のまちづくり、地元企業や名物に関連したテーマなど、幅広い内容で発表が行われました。



中西ゼミ



篠田ゼミA



為房ゼミA



佐々木ゼミC



原田ゼミM



藤井ゼミ



**ゼミナール協議会委員長
富山 翔大さん**
経営学部情報メディア学科3年
岐阜県 富田高校出身

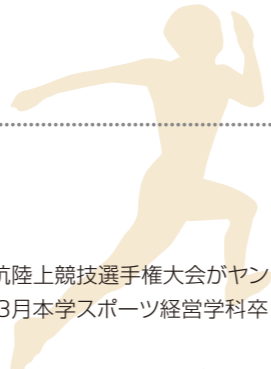
運営委員長として、第46回ゼミナール大会の運営に携ってきました。前回のゼミナール大会に比べ、1会場増えた形での開催となりましたが、教務課の方々、先生方、各ゼミの皆様、運営に携わって頂いた学生の皆様のおかげで大きな混乱もなく無事に終えることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。来年度は今回の反省点を活かし、より良いゼミナール大会を作り上げてください。

会場	ゼミ	テーマ
4101教室	原田ゼミA	オリンピックにおける放映権にまつわる課題
	岸ゼミA	アスリートにおけるスランプの実態と心理的影響
	仁科ゼミB	滋賀県近江八幡市におけるまちづくりの取り組み
	佐々木ゼミA	地域の活性化を目指したメディアの活用
	韓ゼミ	ドラッグストア業界はなぜ今も成長し続けるのか? ~地元企業ユタカファーマシーから学ぶ経営戦略~
4201教室	三和ゼミA	なぜ大垣の100円ショップが全国に名をどろかせたのか? ~セリアのIT化を事例に~
	中西ゼミ	ミス・オブ・マーケティング ~学部レベル・マーケティングの限界~
	高橋(信)ゼミ	スポーツへのICTの活用
	安田ゼミ	ネット通販の国際比較 留学生が見た日本のネット通販
	原田ゼミB	日本におけるアリーナの現状と今後の課題 ~台湾のアリーナ事情を参考として~
5101教室	篠田ゼミA	音楽の聴き方が運動パフォーマンスに及ぼす影響
	石坂ゼミA	AI vs. 就活生 -AIがもたらす人材募集方法の変化-
	佐々木ゼミB	特別支援教育におけるIoTデバイスを活用した学習コンテンツの制作
	高橋(勉)ゼミ	キャッシュレス化の現状と課題
	三和ゼミB	商品物流におけるセイノーHDの強み
5201教室	古口ゼミ	AIの進化について
	高橋(直)ゼミ	リニア中央新幹線に将来性はあるのか?
	森ゼミ	おがきのあゆみ: 市制100周年から未来を考える
	原田ゼミC	2020年東京オリンピック開催の是非を検証する
	古田ゼミ	スポーツ学生のボランティア意識
6201教室	為房ゼミA	コマダ珈琲店とスタバを比較してみた -1周回って喫茶店が熱い-
	竹内ゼミ	スポーツの強さを決めるもの ~都道府県別の比較から~
	杉原ゼミ	3DCGによるスポーツ選手のシミュレーション
	井戸ゼミ	ドローンをWebページから操作するスポーツ系ゲームの開発
	野崎ゼミ	アベノミクスが地域雇用に与えた影響 ~全国と東海地域の比較分析~
講堂(7号館)	中川ゼミ	安全な投資信託の取引
	佐々木ゼミC	声の価値とモノ化
	桑原ゼミ	身近な労働法
	篠田ゼミB	持久的運動における音楽の役割
	為房ゼミB	USJのV字回復の理由 -「夢の国」に勝つために-
講堂(7号館)	高木ゼミ	大垣名物水まんじゅう知名度向上大作戦
	原田ゼミO	2030年札幌冬季五輪再招致における課題について
	大前ゼミ	組織の変化のあり方を分析する視点をつくる -変わろうとしている名古屋の理想と現実から-
	仁科ゼミA	大垣市におけるまちづくり・サインと街路を中心として
	損斐ゼミ	指定管理者制度の導入是非
講堂(7号館)	杉原ゼミ	見て遊ぶだけでなく自ら3DCGのアニメを作ってみよう
	原田ゼミM	飛騨御嶽高地トレーニングエリアの現状と課題
	古田ゼミ	レクリエーションスポーツ(スポレクイベント)への参加率
	石坂ゼミB	経済的側面からみた東京オリンピック
	杉原ゼミ	3DCGの自動的に作る建物による太陽光シミュレーション
講堂(7号館)	大前ゼミ	「いいクルマ」とは何か? -フィールドワークを通して考える-
	浦崎ゼミ	緑の大地に生きる -東アフリカの野生動物と人-
	仁科ゼミ	キャンパスにおける問題点の抽出と改善案の提示
	藤井ゼミ	海津市の財政運営の現状と課題
	高橋(正)ゼミ	将来の日本の運動状況の検討
講堂(7号館)	原田ゼミN	障害者スポーツ環境の現状 ~屋内スポーツ施設の検証から~
	岸ゼミB	バスケットボールフリースローにおけるルーティンがパフォーマンス及び心理状態に与える影響



陸上競技部

TRACK AND FIELD



本学OBが全国大会で優勝!

平成30年9月21日(金)~23日(日)に第66回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会がヤンマースタジアム長居(大阪府)で開催され、松原瑞貴さん(2015年3月本学スポーツ経営学科卒業・本学陸上競技部コーチ)が走幅跳で見事優勝しました!

走幅跳は、40名の選手が出場し、21日(金)予選、22日(土)決勝と2日間に亘って試合が行われました。予選は通過標準記録が7m45cmと定められており、1本目でその記録を超える7m51cm(-0.4)をマークして予選2位で決勝に進みました。決勝では、1本目7m42cm、2本目7m59cm、3本目7m62cm、4本目7m66cmと試技を重ねるごとに記録が伸び、最終跳躍で7m84cm(+0.7)をマークして逆転優勝を決めました。

今回の成績は本学4年次(日本学生個人選手権大会走幅跳優勝)以来の自己ベスト更新(7m80cm)および全国優勝です。

松原さんは現在、本学陸上競技部の外部指導者を務めています。今春から本学専門員(スポーツ特命)として採用が決まっています。また、「2020年の東京五輪出場を目標に競技を続けていきます」と決意を語る松原さんに、今後ともご支援ご声援よろしくお願い申し上げます。



2018年度下半期の主な課外活動成績

ボート部

全日本大学選手権

男子舵手なしペア 6位入賞

水野 拓実(スポーツ経営学科4年 静岡県天竜高校出身)

川端 竜太(経済学科4年 熊本県八代清流高校出身)

全日本選手権

女子舵手なしペア 8位入賞

川嶋 志奈(スポーツ経営学科4年 滋賀県八幡商業高校出身)

原田 りお(スポーツ経営学科3年 長野県岡谷東高校出身)

全日本新人選手権

男子舵手つきフォア 6位入賞

早瀬 昂正(スポーツ経営学科2年 岐阜県美濃加茂高校出身)

瀧本 祥大(スポーツ経営学科1年 京都府東舞鶴高校出身)

三田 哲平(スポーツ経営学科1年 兵庫県相生産業高校出身)

山下 凌平(スポーツ経営学科2年 和歌山県和歌山北高校出身)

硬式野球部

2018年度東海地区大学野球秋季リーグ戦岐阜県リーグ

総合成績 7勝4敗 3位

<個人成績>

○首位打者・ベストナイン(二塁手)

小濱 優磨(スポーツ経営学科4年 沖縄県南風原高校出身)

○打点王・ベストナイン(外野手)

佐藤 謙次朗(スポーツ経営学科4年 岐阜県市立岐阜商業高校出身)

○ベストナイン(遊撃手)

山下 翔大(スポーツ経営学科2年 岐阜県美濃加茂高校出身)

○敢闘賞(投手)

東 海滋(スポーツ経営学科4年 三重県三重高校出身)

サッカー部

2018年度第57回東海学生サッカー1部リーグ戦

通算成績 9勝10敗3分 勝点30 6位

女子ソフトボール部

東海大学リーグ秋季 2部2位(1部復帰)

陸上競技部

U20日本陸上競技選手権大会

女子ハンマー投 6位

白木 七星(スポーツ経営学科1年 岐阜県市立岐阜商業高校出身)

東海学生秋季選手権大会

男子幅跳 優勝

石倉 南斗(スポーツ経営学科4年 新潟県新潟産業大学附属高校出身)

女子400m 優勝

佐藤 朋子(スポーツ経営学科4年 岐阜県美濃加茂高校出身)

全日本インカレ

男子やり投 8位(3年連続入賞)

水野 佑哉(スポーツ経営学科4年 岐阜県大垣商業高校出身)

駅伝部

秩父宮賜杯第50回全日本大学駅伝対校選手権記念大会

東海学連選抜チーム代表

武隈 泰貴(スポーツ経営学科4年 富山県富山商業高校出身)

神里 裕司(スポーツ経営学科3年 沖縄県コザ高校出身)

女子バレーボール部

東海大学女子リーグ秋季大会 1部5位



男子バレーボール部

VOLLEYBALL



東海リーグで男子バレーボール部が7戦全勝・初優勝! 全日本インカレでベスト16!!

第146回東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会(男子一部)において、男子バレーボール部が全勝で初優勝を果たしました。6戦全勝で迎えた最終日、名城大学戦は負けたらセット率で2位以下になるという、絶対に負けられない試合でしたが、選手達はリラックスし、試合を楽しんでいるかのように躍動していました。結果的に1セットは落としましたが、3-1で勝利し、初優勝を果たすことができました。

また11月26日からは、第71回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会に出場し、東海地区唯一、ベスト16まで勝ち進むことが出来ました。



月刊バレーボール2018年12月号に特集されました



東海バレーボールリーグ戦 秋季大会

[最優秀選手賞]

関谷 巧巳さん

経営学部スポーツ経営学科4年 / 愛知県愛知工業大学名電高校出身

[サーブ賞]

有吉 俊太さん

経営学部スポーツ経営学科2年 / 茨城県霞ヶ浦高校出身

[セッター賞]

中原 昂大さん

経営学部スポーツ経営学科4年 / 宮崎県宮崎工業高校出身

大垣商業高校で指導中!

現場で培った技術とスポーツ経営学科の学びを、高等学校での指導に活かす。

大小田 拓楼さん(経営学部スポーツ経営学科3年・鹿児島県鹿児島商業高校出身)

Q1.日頃どんなことを心がけて指導していますか。

生徒のニーズや主体性に合わせて、どうやったら楽しく練習を続けられるかを心がけています。時には1人ずつ面談したり、悩み相談にのったりもしています。

Q2.指導を通じて、今の自身の活動に役立つようなことはありますか。

スポーツ経営学科で学んだ「コーチング論」など、大学で学んだ内容を実践できる、いい機会になっています。



左より、高木監督、大小田さん、本学 平田 勝彦監督

高木 義之先生(岐阜県立大垣商業高等学校 男子バレーボール部監督)

Q1.日頃の大小田さんの指導の様子はいかがですか。

彼には1年半ほど前から、週に4~5日ほど指導に来てもらっています。時には遠征に引率してもらったこともあります。彼が指導してくれるようになってから、練習効率が格段に上がりました。どうしたら選手が上手くなるかを常に考えてくれていて、彼から学ぶことも多いです。選手と年齢が近いこともあり、お兄さんの存在としても支えてくれています。

Q2.今後、大小田さんにどんなことを期待しますか。

彼自身が、1ランク上の指導をしたいという希望があると聞いていますので、本学男子バレーボール部の指導者としてだけでなく、更に高いレベルの指導者を目指してほしいです。練習風景を見ると、日を追うごとに教員らしくなっています。彼ならいい指導者になれると確信しています。



キャリア支援・就職支援
プログラムの紹介

■大学主催の就職前研修会

4年次生以上を対象とした就職前研修会を行いました。講師に、本学が連携協定を締結しているハローワーク大垣学卒シヨウサポーターの原田一樹氏をお迎えしました。研修会は、冒頭、学生と社会人の違いを再確認し、その後は実務的な内容を行いました。学生は、電話の受け答え、名刺交換などを、電話器、自分の名前の入った名刺、名刺入れなど、実物を使って学び、緊張感のある時間を過ごしました。就職活動を終えた学生ということで、社会人の振る舞いも板に付いた感がありました。また、あつちで社会人の基礎を学ぶことにより、社会にでるイメージを明確にすることがつなげたように思えました。大学主催の就職前研修会は、今回初めての開催でしたが、次年度以降も継続開催を予定していますので、多くの学生に参加してもらいたいと思います。



■産学連携セミナー「BtoC企業営業職セミナー・BtoB企業営業職セミナー」
12月と1月に産学連携セミナーとして、「BtoC企業営業職セミナー・BtoB企業営業職セミナー」を開催しました。このセ

岐阜経済大学のキャリア
形成支援及び就職支援

ナーは、就職活動を間近に控えた3年次生への、社会の第一線で働く方々から仕事の実際を学ぶ機会の提供を目的としています。昨年度はBtoC企業のみでしたが、本年度は学生の就職比率としても高いBtoB企業も加え、講話形式だけでなく体を動かして参加学生同士のワークを取り入れた内容で行いました。参加した学生からは、「自分が目指す営業職をイメージすることにつなげた」、「コミュニケーション力を高めるきっかけを知った気がする」との感想が寄せられ、多くの学生が働く上で大切にしたいといけなことを再確認する機会となりました。



岐阜経済大学では、学生が将来の進路についてキャリアプランを立て、4年間の大学生活の過ごし方を考えることを目的に1年次から授業科目として、キャリア形成科目を開講しています。これにより、社会人として必要とされる「コミュニケーション

2018年度 主な内定先企業

- 【公務員・教員等】
岐阜県小中学校事務職員、鈴鹿市役所、岐阜県市町村職員共済組合、岐阜県警察官、京都府警察官、警視庁、大垣消防組合、加茂消防事務組合消防本部、富山市消防吏員、高須輪中土地改良区、青年海外協力隊員、(学)藤枝学園 藤枝明誠中学校・高等学校(常勤教員)
- 【建設・不動産業】
セキスイハイム中部(株)
- 【製造業】
アイシン(株)、アイリスオーヤマ(株)、NTN(株)、(株)川本製作所、三井(株)、新日鐵住金(株)、シンフォニアテクノロジー(株)、(株)中勢ゴム、フタバ産業(株)、ホクショー(株)、(株)丸順
- 【情報通信業】
旭情報サービス(株)、富士ソフト(株)、(株)文溪堂
- 【運輸郵便業】
西濃運輸(株)
- 【卸売業】
(株)エヌ・エス・ピー、(株)大光、沖繩東邦(株)、(株)オリエンタル、(株)扇港電機、(株)西原商会、プリチストーンタイヤ沖繩販売(株)、(株)定鋼商事(株)、米津物産(株)、リントックス(株)
- 【小売業】
ウエルシア薬局(株)、(株)エディオン、長野日産自動車(株)、北海道日野自動車(株)
- 【金融・保険業】
大垣西濃信用金庫、滋賀中央信用金庫、八幡信用金庫、沖繩県農業協同組合、ぎふ農業協同組合、宮城県民共済生活協同組合
- 【サービス業】
(株)アクティオ、JALスカイエアポート沖繩(株)、(株)仙台銘板、総合警備保障(株)、太陽建機レンタル(株)、(株)トーカイ

内定者報告



岐阜県市町村職員共済組合合格
経済学部経済学科
鈴木 亜藝斗さん
(岐阜県 華陽フロンティア高校出身)

■公務員を目指した理由

生まれ育った岐阜県で人の役に立つ仕事が出来たいと入学当初から考えてきました。ゼミで社会保障論を専攻する中で、社会保障の実施主体である地方自治体に関心を持ち、地方公務員を目指すようになりました。

■就活におけるPACとキャリア支援課の活用

公務員が第一志望でしたが、民間企業とも併願していたため、キャリア支援課とPAC支援室の両方を活用しました。私は公務員試験を12月まで続けました。結果が出ない時に相談に乗ってくれたり、企業や準公務員の求人情報を教えてくださいました。キャリア支援課の存在は本当に心の支えになりました。PAC支援室では、筆記試

■先輩へのアドバイス

就職活動が始まるころかと思うのですが、完成された文章を書くためには多くの労力を注ぐ必要があり、履歴書一紙を書くのだけでもすごく大変です。日頃から大学の講義や読書などで文章力を高め、おこことをお勧めします。また、面接で志望動機や自己PRを経験豊富な社会人の方に納得してもらいやすいように伝えることは難しく、練習を何度も重ねる必要があります。大学の活動やインターンシップなどを通して、人前で話すことに慣れておくといいかもれません。社会人になってから後悔のないように、就職活動に全力で立ち向かってほしいと思います。

Close-up OB

OB
紹介

「地域をつなぎ未来を創る」
～人びとのお役に立てる銀行を目指して～



福井銀行 大阪支店 支店長
高崎 昭彦さん
経済学部経済学科(1989年度卒業)



福井銀行 大阪支店

福井銀行の概要
【本店所在地】福井県福井市 【設立】明治32年 【資本金】179億円 【店舗数】98店
【従業員数】1,437名 【株式市場】東証一部 【預金残高】2兆3,659億円 【貸出金残高】1兆6,583億円

Q1. 現在の業務について教えてください。
福井県に本店を置く地方銀行である福井銀行に入行して29年目を迎える51歳です。現在、大阪 御堂筋沿いに位置する「福井銀行大阪支店」に勤務しており、18名の職員と共に金融サービスを通じて、「お客様の豊かな生活の実現」と、「福井と大阪を産業で繋ぐ」ことをテーマに、融資業務やコンサルティング業務をおこないながら、地域活性化に向けたお手伝いをしています。

Q2. 大学在学中はどのような大学生活を送っていましたか。
至って普通の大学生活で、学校に行くと授業を受け、アルバイトをし、友人達と思いっきり遊ぶ事が生活の大半でした。その中でより多くの人と話す機会を作り、コミュニケーションをとって友人を増やすことを心掛けていました。そんな何気ない大学生活の積み重ねが、コミュニケーション能力として現在の仕事面でも機能しているように思います。

Q3. 大学生活で学んだどんなことが、現在役立っていますか。
我々が社会で仕事や生活をしていく上で欠かせない経済活動、その根幹である「市場社会」の仕組みや機能など、実社会の場における重要な教えが大学にはたくさんありました。もちろん、実社会においても日々、経済情報の収集は欠かせませんが、その理解や分析をする上で必要な基礎知識は、大学時代の教えが基になっています。

Q4. 在学生に向けて一言メッセージをお願いします。
大学生活は「自分に投資する時間」だと思っています。勉強も然りですが、アルバイトやボランティア、大学行事の企画・運営、学生交流、旅行、スポーツなど、今しかできない特別なことがたくさんあります。学生時代の経験は、後の社会生活において経験値という引き出しとして役立つ武器になります。二度とない貴重な時間、自分への投資を積極的にこなしてほしいと思います。

就職支援行事一覧

	1年次		2年次		3年次			4年次	
	正課	シブタン	正課	シブタン	正課	シブタン	課外	課外	課外
4月		キャリア形成I							
5月									
6月									
7月									
8月									
9月									
10月									
11月									
12月									
1月									
2月									
3月									

ケーション能力、問題発見解決能力などの「社会人基礎力」を身に付けます。また、3年次では、SPI試験対策、自己理解、業種職種研究や履歴書の書き方、面接対策など就職活動の実践的な内容を学びます。正課以外にも、インターンシップの推進、学内での合同就職セミナー、産学連携セミナー(新聞の読み方講座、営業職セミナー等)、保護者向け就職活動説明会などを開催しています。様々な支援プログラムを用意していますが、それ以上に大切にしていることは、学生一人ひとりに寄り添い、学生の声に耳を傾け、学生の達成感と、満足を感じる進路につながる就職先の企業とのマッチングに心掛ける個別面談(相談)です。今後も、学生の高い就職率につながるよう、全力で取り組みます。



経済学部

たかはし なおし
高橋 直志 准教授



国際経済論を担当しております。今年には平成の終わりを意識せざるを得ない年です。で、これに合わせる形で日本のバブル期前後(1980年代半ば)から始まった新自由主義路線と経済グローバル化の功罪について、学術的な視点を交えて考えてみたいと思います。

東京オリンピックが開催された1964年にOECDに加盟して先進国の仲間入りを果たした日本は、石油危機による物価上昇や日米通商摩擦を経験しながらも「貿易の自由化」「直接投資の自由化」を推進し、1980年代になるとアメリカからの要請に応える形で「金融の自由化」に舵を切りました。この当時の日本は、自動車と半導体を主軸とした世界に冠たる製造業と、良好な雇用情勢に連動した高い貯蓄率と企業の旺盛な投資意欲に支えられた金融業

が健在で、世界が「Japan as No.1」と絶賛した時代でした。ところが平成になって間もなくバブルは弾け、企業が不良債権の処理に苦しみ、若者の就職難やリストラが常態化する時代に変質し、2000年代半ばより「格差社会」というフレーズが定着しました。国際経済論の世界では、1990年前後より経済自由化の最適順序が議論され、①対外開放よりも国内改革を先行すべし、②金融市場よりも先に財市場を自由化すべき、と言われましたが、このシナリオに忠実に従ったとされる日本が以上の有様です。様々な意見がありますが、やはり「IT業とセレクトになった「金融の自由化」の暴走、とりわけ投機的資金への規制を緩め、「尻尾(金融経済)が犬(実物経済)を振り回す」ような社会になってしまった点は看過できません。

昭和の後半期と比較しながら平成の日本を振り返ると、どうしても暗い気持ちになってしまうのですが、冷静に海外事情を参考にしつつ、良い方向性を探りたいと考えています。

PROFILE

仙台で生まれ、幼稚園から高校までを岐阜で過ごしました。大学・大学院は京都で学生生活を送り、10年前に岐阜に戻ってきました。人生の大半を岐阜で過ごし、たまに親戚のいる秋田に帰るといった生活をしてきたため、子供の頃から地域間格差や過疎・過密の問題には敏感だった気がします。大学生になった頃から、海外のことを詳しく知りたいという新天地を求め、気持ちがあった一方で、生地である東北地方への望郷の念が入り混じり、南北問題という、よりスケール感のあるテーマに興味を持つようになったのかな、と今更ながらジグザグとした半生を回顧しています。

趣味拝見

数年前までは、旅行や風景撮影といったアウトドア系の趣味が多かった気がしますが、近年は出不精になってしまい、インドア系の趣味にシフトしつつあります。読書は好きなのですがどうしても時間を要するということで、最近になって短い時間でも楽しめる趣味を求めた結果、囲碁に辿り着きました。30年振りに再開した趣味ですので、今は基礎から学ぶ段階ですが、未知の世界に飛び込んだ学生時代の気分を少しだけ取り戻しました。年甲斐もなく若返った気持ちになったのか、長らく中断していた海外旅行をそろそろ再開しよう、という思いも募っております。



大学名称変更に伴う
Webサイトアドレス、メールアドレス変更のお知らせ

4月1日からの大学名称変更に伴い、下記の通り大学Webサイト等のアドレスが変更になります。



岐阜協立大学
公式Webサイト

http://www.gku.ac.jp/



岐阜協立大学
受験生サイト

http://nyuushi.gku.ac.jp/

また、学内関係者(教職員・在学生)が現在使用しているメールアドレスも、以下のように変更になります。

【教職員・例】 kikaku@gifu-keizai.ac.jp

↓
kikaku@gku.ac.jp

【在学生・例】 cxxxxxxx@std.gifu-keizai.ac.jp

↓
cxxxxxxx@std.gku.ac.jp

※@より前については変更ありません。
※旧ドメインは4月以降、年内(～2019年12月)までは使用できます。

「名東区学生ミーティング」
に参加



湯瀬さん(前列右から3番目)

愛知県・岐阜県の5大学が参加する、「平成30年度名東区学生ミーティング」が11月24日に開催され、5大学の学生たち約50人が参加しました。区政に若者たちの声を反映させようと平成28年度から開かれているもので、今回で3回目の開催です。

本学を含め、愛知東邦大学、椋山学園大学、愛知淑徳大学、愛知みずほ短期大学の5大学の学生たちが参加し、本学からは河合晋 経営学部准教授と、湯瀬凛樹也さん(経営学部情報メディア学科2年・岐阜県 益田清風高校出身)が出席しました。

学生たちは6グループに分かれ、自己紹介後、事例発表とグループ討議「大学・学生は地域社会にどう貢献できるのか」を行いました。

本学は、第1部の事例発表において、「岐阜経済大学における地域貢献活動」と題して、白川郷プロジェクトの内容を報告しました。ICTを生かした観光の在り方を探ろうと、経営学部情報メディア学科の学生が白川郷もりあげ隊(岐阜県白川村、地元企業、コカ・コーラボトラーズジャパン、ギフトップ)と産官学連携の取り組みにおいて、観光イベントに使用するスマートフォンアプリケーションを開発したこのプロジェクトは、新聞にも取り上げられ、情報処理学会で学生奨励賞を受賞するなど、高い評価を得ています。

スポーツ経営学科の
教員・職員と学生、
大垣市民で
「大垣市民体操」を考案



100周年記念歌振り付け



大垣市制100周年を記念して「おおがきの歌：これまでからこれからへ(谷川俊太郎作詞、谷川賢作作曲)」が製作され、大垣総合学園(岐阜経済大学・大垣女子短期大学)は、この曲を活かして健康づくりに役立つ「大垣市民体操」を教職員と学生、そして大垣市民の皆さんの協力でつくりました。

この体操は、健康づくりの基礎である「脚と腰」に適度な刺激を与えられ、とてもシンプルで誰でも気軽にできます。体操の動作は、本学経営学部の古田康生准教授(専門：生涯スポーツ論)が中心となり、学生と市民が共同で歌詞とリズムの特性を考慮して考案しました。

2018年度は、学生と教職員がキャラバン隊を結成して、「秋の芭蕉祭(新聞記事)」や「かがやきライフタウン大垣2018秋のつどい」、「JAIにしみの大垣区域2018農業祭」などのイベントにて、参加した多数の市民の皆様と一緒に体操をしました。これは、幼児からシニアまで幅広い年齢層の方と一緒に体操をするため、本学学生にとっては「コミュニケーション能力」を磨く実践教育の場でもあります。体操を全く知らない参加者にポイントを試行錯誤しながら教え、一緒に実践して「できたあ」の達成感や学生の成長にもつながっています。

2019年度以降は、市民事業だけでなく、小学校や保育園、幼稚園を訪問して大垣市民体操を広める計画をしています。そのための準備として、現在、大垣市民体操のポイントを分かりやすく解説した広報用DVDとパンフレットを作成しています。

中日新聞 2018年11月6日(火)【西濃版】掲載

岐阜協立大学の学章・ロゴマーク・スローガンが決定!

2019年4月からの大学名称変更にあわせ、岐阜協立大学の新たな「学章」および「ロゴマーク」のデザインが決定しました。



学章

「イチイの葉」は、岐阜県の県木「イチイ」の葉を図案化したもので、たゆまない躍進を象徴するものです。岐阜経済大学の学章もイチイをモチーフにしました。



ロゴマーク

岐阜協立大学の「協」の文字を図案化しており、星に向かって3つの力が進んでいくイメージを表しています。3つの力というのは、この大学名称に込めた思いである「教育研究の力」「人間力」「地域の力」であり、「学生、教員、職員」であり、地域においては「自治体、経済界、大学」を表します。

合わせて、岐阜協立大学のスローガンも決定しました。

ともに立ち、向かう

自分ひとりではできなかったことも、大学の教職員や仲間、地域・行政などの協力のもとでともに歩み続ける姿勢を伝えます。

たとえ、その道がどんなに困難であっても、立ち向かうことで得られる可能性を信じる、本学の姿勢と覚悟を示しています。「ともに立ち」の“とも”には「学生と教職員」と言う意味だけでなく「大学と地域」「学生と地域」や、さらには、教職員や学生同士(同志)という幅広い意味を持たせています。まず目指すべきところへ向かって“ともに立ち”そして、何度でも立ち続け最終ゴールまで“ともに向かう姿勢”を大学の名称と掛け合わせることで表現しています。教職員でワークショップを行い、岐阜協立大学への思いを込めました。



11月19日には、看護学部看護学科設置認可の記者発表を行うとともに、完成した学章・ロゴマーク等のお披露目を行いました。

教職員人事

学内役職者

2019年2月1日就任



竹内 治彦
学長



古口 博之
副学長
(学生募集・入試担当)



高橋 利行
副学長
(地域連携担当)

新規採用

2018年10月1日付

2018年11月1日付

2019年2月16日付



小野 英生
理事長室長
九州工業大学工学部
工業化学科卒業



鎌田 佳子
図書館事務室専門員
相山女学園大学
人間関係学部人間関係学科
社会学専攻卒業



志水 優太
総務課主事
岐阜経済大学経営学部
経営情報学科卒業

退職

濱崎 正人 入試広報課主査

2018年8月31日付

2018年9月30日付

吉形 高志 理事長室主査兼企画広報課主査

井上 香 図書館事務室専門員

昇格

2018年9月1日付

高木 恭子 看護学部事務室事務長(教務課主査)

配置転換

2018年9月1日付

渡辺 正典
法人事務局長兼大学事務局長兼理事長室長
(法人事務局長兼大学事務局長)

釣餌 文志
学生課長(理事長室長兼企画広報課長)

大音 浩一
入試広報課長(学生課長)

大音 和泉
企画広報課長(入試広報課長)

小森 茂
入試広報課主幹(学生課主幹)

2018年10月1日付

渡辺 正典 法人事務局長兼大学事務局長(法人事務局長兼大学事務局長兼理事長室長)

堀江 淳也
教務課主査(財務課主査)

大橋 雄一
看護学部事務室主査兼学生課主査(学生課主査)

山本 悠壘
財務課主事(企画広報課主事)

小笠原 瑞康
理事長室勤務(大垣女子短期大学事務局勤務)